

カリキュラム一覧

	日 時	講 師	内 容
1回目	6月11日(土) 10時～12時半	澤田 道夫氏 (熊本県立大学総合管理学部教授)	地域における女性リーダーの役割／ワークショップの進め方 ◇オリエンテーション ◇交流会(予定)
2回目	7月9日(土) 10時～12時半	熊野 たまみ氏 (株式会社adapt next.代表取締役 /SDGs de 地方創生公認ファシリテーター)	SDGsから見るジェンダー平等 の状況 ◇写真撮影
3回目	8月6日(土) 10時～12時半	鈴木 桂樹氏 (熊本大学名誉教授)	男女共同参画の基礎知識 ～いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか
4回目	8月27日(土) 10時～12時半	野田 恭子氏 (Career Wave代表)	グローバルに活躍しよう！もっと知ろう 多様な世界の状況
5回目	9月10日(土) 10時～12時半	森 あい氏 (弁護士/くまにじメンバー)	多様性を認め合う社会～ LGBTの基礎知識
6回目	10月8日(土) 10時～12時半	谷口 絹枝氏 (日本近代文学研究者)	女性の人権と男女平等 ～映画を通して考えるベアテ・シロタ・ゴードンの功績～
7回目	11月5日(土) 10時～12時半	越地 真一郎氏 (NIE ファシリテーター)	「伝える」から「伝わる」へ ～結論ファーストの論理的思考・表現法～
8回目	12月10日(土) 10時～12時半	平野 みどり氏 (元県議会議員)	周回遅れの議会から 多様性のあるインクルーシブな議会へ！
9回目	1月14日(土) 10時～12時半	オノユリ氏 (第7期修了生 /子育てネットワーク「縁側moyai」代表)	【修了生に学ぶ】 一人一人の小さな「できるしこ」を集めて 大きな一歩へ
10回目	1月28日(土) 10時～12時半 ※12時半～交流会		成果発表会&修了式 ◇交流会(予定)

※本カリキュラムは事情により、変更になる場合がございます。交流会については新型コロナウイルス感染拡大状況により実施を検討します
※実施の際は感染症対策にご協力ください。また講座内では感染症対策を取りながらグループワークをすることがあります。

POINT 1

経験豊かな講師陣から
男女共同参画の現状やリーダーに
必要な考え方やスキルを学べる

POINT 2

職業・世代を超えた女性の
ネットワークを構築できる

POINT 3

希望者(定員あり)には、
男女共同参画に関する
県外研修の費用を一部助成

POINT 4

期を超えた過去修了生との
交流・活動の場、フォローアップ
講座の提供

修了生の声

※受講感想より抜粋

3 期 生

田上 寛美さん



もともと女性支援は注目していますが、私自身、女性として、母として、社会人として、改めて何が必要かを考える機会となりました。講師や女性たちとの出会いにより、視野が広がり、前に進む勇気をいただいたのも収穫です。

4 期 生

運天 佳菜さん



きっかけは、育休後の職場での役割や、仕事と子育ての両立の不安もあり、何かプラスになる学びができればと思ったこと。グループワークや講座の中で女性の社会進出や男女共同参画という学びだけでなく自分の得意分野・苦手分野を見つめ直すきっかけにもなりました。

5 期 生

溝尻 亜由美さん



「自分の意見を堂々と言える、格好良い女性になりたい」。ウィメンズカレッジの最初のオリエンテーションで、ファイルの1ページ目に書いた言葉です。カレッジで得た知識やスキルを今後、仕事や家庭、地域でどう生かそうかとワクワクしています。

6 期 生

豊田 直子さん



受講当初は、社会課題の解決はすごい人・できる人がするものだと考えていました。だから私が関心を持って仕方がない、と目を向けていませんでした。しかし受講していくうちに、私たち一人ひとりが問題に目を向けることが大事なのではないか、と考えるようになりました。

7 期 生

松石 友里香さん



子育てしながら編集プロダクションで働いています。以前から、子育ての情報が母親向けに発信されることに疑問を持っていました。そのイメージを少しでも変えたく、男女共同参画の視点を養うため、ウィメンズカレッジを受講。講座で得た多様な視点を自分の子育て、仕事や地域に生かしていきたいです。

8 期 生

坂口 美果さん



ウィメンズカレッジは受講修了後がスタートです。私はスポーツとジェンダーの向き合い方、男女共同参画に関する地域間の情報格差、2つの課題に興味を持っています。今までは幅広く男女共同参画について学んできましたが、今後は深く掘り下げて学び、情報を発信できるようになりたいです。

講師紹介



6/11
(土)

女性リーダーの役割

澤田 道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)

東京外国語大学卒業。石油公団勤務後、熊本県庁へ。2019年4月から現職。専門は行政学、参加協働論、総合管理論。熊本市防災基本条例検討委員会会長・熊本県行政文書管理委員会会長などを務める。



7/9
(土)

SDGs

熊野 たまみ氏

(SDGs de 地方創生ゲーム公認ファシリテーター) 株式会社adapt next.代表取締役。企業、行政において、ファシリテーション研修など各種スキル研修を実施。また、地域コミュニティの再生、ダイバーシティや女性活躍推進支援などの活動計画策定支援を行っている。NPO法人SDGs Association 熊本 副代表。



8/6
(土)

男女共同参画

鈴木 桂樹氏(熊本大学名誉教授)

1955年福井市生まれ、大阪育ち。87年に熊本大学に赴任。2021年3月定年退職。日本政治学会会員。元くまもと市男女共同参画会議会長。共著に、『ジェンダーと政治過程』(木鐸社)、『現代イタリアの社会保障』(旬報社)など。



8/27
(土)

グローバルな視点

野田 恭子氏(Career Wave代表)

在米27年のキャリアを生かし、熊本の次世代を担う人々へ、グローバルな視点を持って活躍できるよう人材育成に尽力。さらに異文化理解、多文化共生の啓発にも力を入れている。また特に女性たちへ、世界の出来事(政治、経済を含む)に関心を持つように推奨する活動を行う。NGO国連女性の地位委員会ニューヨーク会員。



9/10
(土)

LGBT

森 あい氏(弁護士/くまにじメンバー)

共編著に『セクシュアル・マイノリティQ&A』(弘文堂)、共著に『暴力 DVは異性間だけの問題か?』(『セクシュアリティと法 身体・社会・言説との交錯』法律文化社)がある。 ※くまにじは、熊本をセクシュアルマイノリティにとって、住みやすい場所にするための市民グループ。



10/8
(土)

女性の人権

谷口 絹枝氏(日本近代文学研究者)

主に佐多稲子や石牟礼道子など女性作家を研究。複数の大学で文学の他、ジェンダー学を担当。著書に『蒼空の人・井上信子一近代女性川柳家の誕生』など。2005年「ベアテの贈り物」熊本上映会代表。 ※ベアテ(シロタ・ゴードン)は、男女平等を日本国憲法に書いた人物。



11/5
(土)

情報発信

越地 真一郎氏(NIEファシリテーター)

新聞社勤務を経て現在は熊本大学客員教授など。新聞をテキストとして生かすNIE(教育に新聞を)講座を大学・専門学校、企業・各種団体、生涯学習などで担当している。他に熊本市づくり基金選定委員、同市公益活動支援基金運営委員など。



12/10
(土)

女性と政治

平野 みどり氏(元県議会議員)

熊本県議会議員初の車いすユーザーとして1997年に当選。ジェンダー平等の視点で子育て、教育などの課題に取り組む。2015年引退。現在は認定NPO法人DPI(障害者イタナナカ)日本会議議長。障害者運動に軸足を置き、特に障害を持つ女性たちの直面する複合差別や優生思想の問題に取り組んでいる。



1/14
(土)

【修了生に学ぶ】地域活動

オノユリ氏(子育てネットワーク「縁側moyai」代表)

東京都出身。2009年夫の仕事の関係で熊本へ。2年後に出産。長男1歳のときに「一人で頑張るすぎず、支え合いながら皆で一緒に子育てしよう」との想いで「縁側moyai」の活動を開始。現在登録メンバーは500人を超え、運営も子育て中のママたちが主体で行っている。小5・小2双子の母。